

平成28年度 鳥取大学入学者選抜試験問題
(推薦入試Ⅱ)

小 論 文

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

出題の意図

問題 1

題材は獣医学倫理に関して 2006 年に出版された「Veterinary Medical Ethics」に記載された獣医倫理の歴史的变化と基本的問題について書かれた一文を抜粋、改変したものである。全体的に平易な英文で構成されており、法律関係や難解な語句については脚注を示してあるため獣医学を目指す受験生であれば容易に読みこなすことが出来る。また答えは全て本文中にある。設問では、基本的な英文読解力と科学的でかつ理論的な思考、文章構成能力を問うことを目的とした。

問題 2

現在、出題文に取り上げた東日本大震災に加え、豪雨災害などの異常気象が社会的に大きな問題となっている。このような個々の時事において、志願者が修めることを望んでいる獣医学がどのように関連しているのかを日々考える習慣および能力は、社会的要請に応える獣医師として将来的に必要であると考えられる。共同獣医学科を志望するにあたってそのような素養や、従うべき法律およびガイドラインから必要な情報を読み取る潜在的な力を有している学生であるかを評価する問題とした。

問 1,2 および 7 与えられた課題文の内容を的確に読み取る読解力、加えてこれまでに受験者が見聞した時事等を踏まえて、適切に考えをまとめる能力を問う。

問 3,4 および 5 与えられた課題文(ガイドライン)から受験者自身が必要な情報を抽出する能力を問う。

問 6. 家畜防疫員など獣医師はガイドラインに基づいて、フローチャートに沿って適切な診断手順や行動を求められる場合が多々ある。本問ではフローチャートのような端的に示された内容を理解する能力を、空欄部を推測させることで計っている。